

はじめに
痔とは?



痔のお話



痔核(じかく)、痔瘻(じろう)、裂肛(れっこう)の総称で、一般的にはそれぞれイボ痔、ウミ痔、キレ痔といわれます。

痔核とは・・・

肛門の粘膜下および皮下に存在する静脈叢に生じた静脈瘤で、腹圧の反射による鬱血(うつけつ)状態が繰り返されて発生します。便秘、下痢、長時間の起立、座業、妊娠出産などによって生じやすく、アルコールや香辛料の過量摂取などは増悪因子となります。



痔核の種類

- 外痔核 — 単発で外から確認できます。血栓を生じる血栓性外痔核が多く、肛門部に暗紫色の腫瘍があり、突発する肛門痛を伴います。
- 内痔核 — 肛門の奥に発生します。症状として出血が多く見られ、新鮮な血液が便に付着したり、排便後滴下したりします。通常は痛みを伴いません。また排便時に内痔核が肛門外への脱出(いわゆる脱肛)、残便感、肛門部の湿潤や肛門皮膚の痒みがあります。

痔瘻とは・・・

肛門腺が感染して肛門周囲腫瘍が生じ、瘻孔化したものです。乳幼児の痔瘻は生後3ヶ月以内の男児で自然治癒例が多いですが、成人は手術以外の治療はありません。



裂肛とは・・・

排便時のリキミ、硬い便塊の通過による受傷により肛門管上皮の長軸方向の亀裂で、排便時および排便後の痛みや少量の新鮮血の出血が見られます。女性に多く見られ、3歳以下の低年齢層にも認められます。



痔の治療

1. 保存的治療

- 生活指導 肛門衛生、便通を整える、アルコール・香辛料を控えるなど
- 薬物療法

外用薬・・・坐薬と軟膏があります。

成分そのものの効果と基剤の油脂成分が便を軟化させ、排便時の便の潤滑的な役割を果たしています。ステロイド含有のものは強い抗炎症作用をもち、急性期に効果があります。

他に止血効果に優れているもの、大腸菌に対する作用のあるもの、局所循環改善薬などがあり、症状によって組み合わせて使用します。

内服薬・・・排便を整えるため緩下剤や止痢剤を、裂肛ではビタミンEを、肛門周囲・腫瘍には抗生剤を用います。

2. 外来処置

内痔核・・・硬化剤注入による注射療法(出血に対し有効)、輪ゴム結紮法、凍結療法、その他種々の痔核切除術(根治手術)があります。

血栓性外痔核・・・症状の強いものに対して血栓除去術、肛門周囲腫瘍には切開排膿術を行います。



肛門は毎日使われるところです。恥ずかしながら専門医に診察を受けてください。治療を受けて症状が改善されることで生活の質が改善され、行動範囲も広がるはずですよ。